



小松 正真 議員

一問一答方式

新教育長の方針は

教育長 小中学校の現場の声を聞くこと

新教育長の教育行政に関する方針は。

答(教育長).....

私の強みは教員として37年勤務してきたこと。重点方針として、小中学校の現場の声を聞くこと、地域や保護者の皆さまと連携を図ることの2点。強い使命感と責任感をもって教育行政を牽引していく覚悟である。

生涯学習とは。

答(教育長).....

個人の生活の向上職業上の能力の向上等を目指し自発的な意志に基づいて行うことを基本として必要に応じ自分に適した手段および方法を自ら選びながら生涯を通じて行うもの。学校教育・社会教育のみならず個人の趣味も生涯学習と捉えることができる。

学校教育の方針は。

答(教育長).....

令和の日本型学校教育の推進と学校家庭地域が協働して取り組む『学校運営協議会制度』による学校運営の二つを基軸として、遠野の教育を推進していく。

家庭教育の方針は。

答(教育長).....

家庭教育ゼミナールを開催し、全国的な課題となつている情報メディアとの上手な付き合い方など、家庭教育の課題に即した学習の機会を充実させることにより家庭及び地域の教育力の向上に努める。学校運営協議会等と連携し地域で子どもを育てるといふ観点の下取り組みを進める。



市民の皆さま教育長室に遊びに来てください by 教育長

社会教育に対する方針は

教育長 リーダー育成に努めることを重点に充実を図る

社会教育の方針は。

答(教育長).....

人口減少や高齢化への対応、地域のリーダーとなる人材の育成など地域の課題解決に向けたさらなる取り組みや学校教育と社会教育の一層の連携が求められている。今後はこれまでの取り組みを継続しながら、より多くの住民の主体的な参画を得ること若手からベテランまでのリーダーの育成に努めることを重点として社会教育の充実に向け取り組む。

第2次遠野市総合計画 後期基本計画について

市長 手ごたえを感じる

後期基本計画を展開しての成果は。

答(市長).....

「遠野の未来開拓予算」がスタートした。今の遠野に重要なのは民間投資、それにチャレンジする。成果は十分上げられる。

建て替えをすべきと考えている。宮守総合支所が中心となり、建設場所も含め、しっかりと宮守町全体の将来像を決めてからと考えている。

答(市長).....

建て替えは何年度か。 何年と申し上げると約束になる。建設が一



建て替えをひっそり待つ 宮守保育園

宮守保育園建て替え計画の進捗状況は。

答(市長).....



佐々木 敦緒 議員

一問一答方式

宮守保育園と宮守児童館を併設しての建て替え、さらに運動広場の拡張や駐車場、周辺民家への通い道など、一体的整備を図ることのできる環境がととのう現在地が、建設場所

年遅れても計画を皆でしっかりと話し合い、できるだけ早期と考えている。

答(市長).....

現在、桐町7号線は生活に身近な道づくり事業5カ年計画に載っていないので、計画に入れることが必要となっている。

にはふさわしいと思うが。
答(市長).....
現在地を否定するものではない。皆の話し合いによって決まるものと理解している。

桐町7号線を保育園道路に接続すれば除雪も可能となる。

答(市長).....

現在、桐町7号線は生活に身近な道づくり事業5カ年計画に載っていないので、計画に入れることが必要となっている。

シカ対策について

市長 シカの被害は切実

シカの駆除の達成度合いは。

答(市長).....

令和2年度は2371頭、3年度は2784頭捕獲した。

年間の被害額は。

答(市長).....

9901万円の現状。

自衛隊OB等や全国の猟友会の方に依頼して、徹底した駆除が必要と思う、当局で考える効果的な策は。

答(市長).....

今年度は岩手県と一緒に高原に沢山のワナを仕掛ける。

ペットフードの製造や動物園にシカ肉を販売するシカの解体処理加工施設の建設を本で行うことを提案する。

答(市長).....

ビジネスのチャンスとしたい。ペットフード等は十分あると考えられる。民間企業がやるの声を聞こえている。いずれ民であり官であり、やらなければならぬと考えている。

